

平成28年度(2016年度)

管理事業名	都市交流事業			総合計画の体系	第4章 第4節	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり 多彩な文化が交流するまちづくり ほか	
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 2	総務費	(項) 1	総務管理費	(目) 27	都市交流費
部局名	都市魅力部	予算執行所属		文化スポーツ推進室			
予算大事業名 交流事業	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名						
事業の目的と概要 ・国内都市交流事業 ・国際交流事業 ・千里ニュータウンプラザ施設管理事業(千里ニュータウンプラザに所在する吹田市国際交流協会にかかる施設管理) 本市には国内に6都市の友好都市(新潟県妙高市、福井県若狭町、滋賀県高島市、大阪府能勢町、高知県土佐町、兵庫県香美町)があり、これら他地域のもつ文化や歴史等の交歓を通じて、体験学習や生涯学習の機会の提供を図り、住民相互の連携コミュニティ活動の振興を図ることを目的に、交流を進めています。 また、本市の海外友好都市であるスリランカ・モラトワ市、オーストラリア・カンタベリバンクスタウン市との交流をはじめ、吹田市国際交流協会に補助金の支出を行い、本市の国際化及び市民レベルの国際交流活動の推進と、多文化共生のまちづくりを進めるものです。							

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	成果指標の定義
国内交流事業参加者数	人	88	58	56	文化のまちづくり室所管における国内都市交流事業において、吹田市民が友好都市を訪問した人数
国際交流事業参加者数	人	1,834	1,449	1,649	在住外国籍市民のための日本語教室への延参加者数
成果の説明	本市国内友好都市を訪問し、その地域の文化や生活・風習を体感していただき、友好都市を第2の故郷として感じていただけるよう、交流事業を実施しています。またスポーツなどを通じての市民交流も行っています。 本市の国際化と外国籍市民等にとっても住みやすいまちづくりを進めるため、日本語の習得が不十分な外国籍市民等に対して日本語教室を実施し、言語を習得するだけでなく、日本の文化や生活を学んでもらえるよう努めています。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成26年度	平成27年度 A	平成28年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	3,165	3,052	3,962	909
経常収入 小計(a)	3,165	3,052	3,962	909
給与関係費	10,635	10,111	13,783	3,672
物件費	10,038	9,544	11,275	1,731
維持補修費	-	-	-	-
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	13,615	4,750	6,525	1,775
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	1,229	1,229	1,229	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	829	790	989	199
退職手当引当金繰入額	617	△140	2,943	3,083
支払利息	3,302	3,125	2,930	△194
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	40,264	29,408	39,673	10,265
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△37,099	△26,356	△35,711	△9,356
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△37,099	△26,356	△35,711	△9,356
一般財源充当額	45,578	35,721	41,756	6,035
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	8,479	9,365	6,045	△3,320

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
給与関係費	職員人件費
物件費	使用料及び賃借料(友好都市訪問に係るバス使用料等)823千円 委託料(在住外国籍市民等のための日本語教室、多文化共生に関するアンケート費用ほか)9,515千円
負担金・補助金・交付金等	吹田市国際交流協会事業補助金6,365千円 国際交流推進事業補助金50千円 吹田市国際交流協会事業補助金の増額によるもの

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成26年度	平成27年度 A	平成28年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	3,165	3,052	3,962	909
行政サービス活動支出	39,378	29,409	36,353	6,945
行政サービス活動収支差額	△36,214	△26,356	△32,392	△6,035
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	9,364	9,364	9,364	-
財務活動収支差額	△9,364	△9,364	△9,364	-
収支差額 合計	△45,578	△35,721	△41,756	△6,035
一般財源充当額	45,578	35,721	41,756	6,035
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	[行政サービス活動収入]国際交流協会施設使用料1,516千円、千里ニュータウンプラザ維持管理経費(吹田市国際交流協会負担金)689千円 [財務活動支出]千里ニュータウンプラザ国際交流協会分に係るPFI返済債務9,364千円
----------	--

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
市民一人あたりにかかる都市交流事業コスト	平成26年度	362,899 人	111 円	平成29年3月31日現在の吹田市民人口で算出し、市民1人あたり107円のコストがかかっています。なお、国際交流事業について委託料及び補助金が前年より増加したため、1人あたりのコストが増加しました。
	平成27年度	367,510 人	80 円	
	平成28年度	369,522 人	107 円	
	平成26年度		円	
	平成27年度		円	
	平成28年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成27年度末 A	平成28年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成27年度末 A	平成28年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	10,154	10,353	199
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	790	989	199
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	9,364	9,364	-
事業用資産	56,836	55,607	△1,229	固定負債	149,754	142,282	△7,472
有形固定資産	56,836	55,607	△1,229	地方債	-	-	-
土地	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建物・工作物	-	-	-	退職手当引当金	9,290	11,182	1,892
リース資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	その他固定負債	140,464	131,099	△9,364
無形固定資産	-	-	-	負債の部合計	159,908	152,635	△7,273
インフラ資産	-	-	-	純資産	96,928	102,972	6,045
有形固定資産	-	-	-	重要物品	-	-	-
土地	-	-	-	図書館資料	-	-	-
建物・工作物	-	-	-	投資その他の資産	200,000	200,000	-
建設仮勘定	-	-	-	出資金	200,000	200,000	-
重要物品	-	-	-	長期貸付金	-	-	-
図書館資料	-	-	-	基金	-	-	-
投資その他の資産	200,000	200,000	-	徴収不能引当金	-	-	-
出資金	200,000	200,000	-	その他債権	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	資産の部合計	256,836	255,607	△1,229
基金	-	-	-	負債及び純資産の部合計	256,836	255,607	△1,229
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				

Ⅲ 財務構造分析

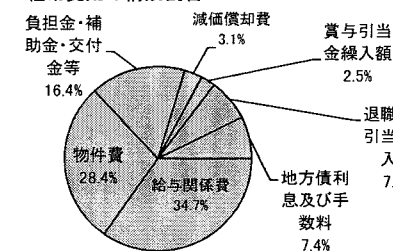
▽人にかかるコストの内訳

事業従事人数	常勤・再任用	非常勤	臨時雇用員	審議会委員等	合計(千円)
	月平均	月平均	年間従事延日数	実人数	
	1.6人	0人	193日		17,715
給与関係費等	15,945千円	0千円	1,769千円		
内、時間外勤務手当	593千円				

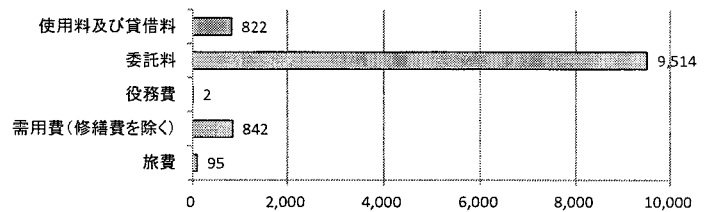
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
建物・工作物	千里ニュータウンプラザ国際交流協会分に係る減価償却により1,229千円の減
出資金	公益財団法人吹田市国際交流協会出資金200,000千円
その他固定負債	千里ニュータウンプラザ国際交流協会分に係るPFI返済債務により9,364千円の減

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	吹田市国際交流協会 (千里ニュータウンプラザ内)
取得年月日	平成24年(2012年)6月30日
建物・工作物の取得価額	61,444千円
建物・工作物の減価償却累計額	5,837千円
利用料金収入	-千円

▽分析指標

分析指標	年度	平成28年度			差 B-A
		平成26年度	平成27年度 A	平成28年度 B	
施設維持補修費比率		-	-	-	-
施設老朽化比率		5.5	7.5	9.5	2.0
受益者負担比率		-	-	-	-
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		93.5	92.1	91.3	△0.8
経常費用対公共資産比率		65.5	47.9	64.6	16.7

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は53.9%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

【行政コスト計算書及び経常経費の構成割合】

コスト全体の28.4%を物件費が占めており、そのうち千里ニュータウンプラザ維持管理経費や多文化共生に関するアンケート費用(平成28年度のみ)として委託料が84.4%を占め、前年の74%より増加しています。

【貸借対照表】

吹田市国際交流協会が入る千里ニュータウンプラザにおいてはPFI事業において建設されているため、供用が開始された平成24年より平成43年までの20年間にわたり、土地家屋購入に生じた経費の返済債務が予定されています。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

(公財)吹田市国際交流協会が千里ニュータウンプラザ内に入っていることから、PFI事業で土地・建物を取得した経費に係る返済債務である土地家屋購入費、また維持管理に関する経費が必要となっています。その経費のうち、当該協会より施設使用料、及び維持管理経費に係る負担金を徴収することにより、本市が負担すべきトータルコストの適正な管理に努めていきます。

国際交流事業については、吹田市国際交流協会事業補助金において、人件費比率に上限を設けるなど事業費の抑制を図ってきました。今後も効果的・効率的な事業実施に努め、本市の国際化や多文化共生のまちづくりに関する事業を進めていきます。